

令和5年度奈良県医療費増加要因分析業務委託 公募型プロポーザル評価基準

評価対象	評価項目	提案を求める内容 ／判断材料	評価のポイント	配点 ①×②	基本点数 ①	調整係数 ②
業務履行能力	体制	[様式8] ・業務実施体制 ・業務の分担	・本業務に適したチーム編成がなされているか。 ・各要員の責任や役割分担が明確に示されているか。 ・県との連絡調整、検討体制が明確に示されているか。	10	5	2.0
		[様式9] ・情報管理体制 ・非常事態における対応	・情報管理上の効果的な対策が明確に示されているか。 ・情報管理に関する従業員への効果的な研修対策(計画)が明確に示されているか。	5	5	1.0
	業務実績	[様式3] ・過去5年間の実績	・本業務に活かせるような十分な実績があるか。	10	5	2.0
	スケジュール	[様式10] ・スケジュール ・進捗状況管理	・期限までの段階的な成果の共有を想定できているか。 ・期限までの成果物提出に向けての工程を想定できているか。 ・業務実施体制や提案内容との整合がとれているか。	5	5	1.0
業務内容の理解度 ・分析力 ・提案力	企画提案① 医療費及び医療費増加因子の整理手法の提案	[様式7-1] ・医療費及び医療費増加因子の整理	・本県の医療費の課題を洗い出すために行う分析及び整理の作業を、本県の立ち位置を明確にしながら詳細に実施できそうか。 ・医療費増加因子を整理する作業を、経年変化を意識して、幅広く対応できそうか。	10	5	2.0
	企画提案② 医療費と医療費増加因子の関係性の分析手法の提案	[様式7-2] ・医療費と医療費増加因子の比較分析 ・高齢化の影響を踏まえた分析 ・その他分析	・経年の全国、他都道府県比較により奈良県の医療費と医療費増加因子との関係性や特徴を明確に示すことができそうか。 ・疾病別医療費と診療行為、処方薬の件数や医療費の変化から、高齢化の影響を考慮した医療費増加と因子の関係性を示すことができそうか。 ・グラフや図を用いたわかりやすい分析結果のイメージが示されているか。 ・医療費と医療費増加因子との関係を比較するための有効な分析手法が独自提案されているか。	25	5	5.0
	企画提案③ 分析結果の考察や評価手法の提案	[様式7-3] ・分析結果の考察や評価手法の提案 ・今後の分析方針案の提案	・分析結果の考察の手法が示されているか。 ・明確な結果が出ない場合の可能性の言及に対する考え方が具体的に示されているか。 ・想定される「要因を客観的に課題として認識すべきかどうかの判断基準、評価手法」が示されているか。 ・今後の分析方針案を提案するための課題の整理手法や考え方が示されているか。	15	5	3.0
	企画提案④ 分析結果報告書の作成、報告会の開催の提案	[様式7-4] ・分析結果報告書等の作成 ・分析結果報告会の開催	・分析結果報告書や情報共有資料の完成イメージが示されているか。 ・関係者と分析結果を共有するための報告会の開催を効果的に実施できそうか。	10	5	2.0
価格の妥当性	価格	・参考見積額 ・上記の内訳	※評価点数は、次の式により求める。 評価点数＝10点×(最も安価な見積額／当該提案者が提示する見積額) ただし、小数点以下は切り捨てる。	10		
合 計				100		

◆採点方法

- 採点(基本点数)は5点満点とし、提案内容の評価結果により、次の5段階で行う。
(優れている:5点、やや優れている:4点、普通:3点、やや劣る:2点、劣る:1点)
なお、評価は絶対評価とする。
- 採点方法は、上記項目ごとに合計100点満点で評価を実施する。

◆候補者の選定方法

- 失格者を除いた者のうち、総合点が最も高い者で、かつ審査委員会の合議により認められた者を、契約の相手方の候補者として選定する。
- 最高点の者が複数の場合は、以下のとおり選定する。
 - ア 評価項目6「企画提案②医療費と医療費増加因子の関係性の分析手法の提案」の点数が高い者
 - イ アが同点の場合は、評価項目7「企画提案③分析結果の考察や評価手法の提案」の点数が高い者
 - ウ イが同点の場合は、評価項目5「企画提案①医療費及び医療費増加因子の整理手法の提案」の点数が高い者
 - エ アからウがいずれも同点の場合は、第1位候補者の選定を審査委員長に一任する。
- 上記2点にかかわらず、次に掲げる項目に該当する場合は候補者として選定しない。なお、提案者が1者の場合もこれを適用する。
 - ア 総合点が6割未満の場合
 - イ いずれかの評価項目で審査員の平均点が5割未満の場合